

颯爽

さっそう

颯爽とは「きりっとして勇ましい様子」
或いは「さわやかで勢いのあるさま」を言います。
時代の風を満身に受けて、今まさに県政の場で颯爽と活躍する
つるた有司君を、今後とも力強く支援していこうではありませんか。

春から横手がますます面白くなる！ 県立衛生看護学院の工事、着々と進む



新年、明けましておめでとうございませう。二〇〇八年の幕開けに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨年の県議会議員選挙は新横手市選挙区での戦いとなりましたが、おかげさまで四期目の県政へお送りいただきました。皆様のご支援とご協力に、あらためて御礼申し上げます。党派では自民党秋田県連の総務会長を拝命し、議会では福祉環境委員会副委員長の任を受け、県政課題に全力で当たっているところであります。中でも特に重大な局面を迎えている子育て支援対策につきましては、「子育て支援と教育充実等に関する特別委員会」に所属しております。この問題は、確かに県民あげて支えていくべき重要課題ではありますが、なかなか所得が上がりません。現状を考えると、新たな県民負担なしで可能な方策を探るべきとの立場で議論に参加しており、事業によっては、現行の内容精査とともに国に求めていくことも考えていかなければならないと考えております。昨年、参院選における自民党の大敗や食品業界のたび重なる偽装問題など、政治や経済に様々な問題もあつた中で、秋田県にとつては喜ばしいことでもあります。一つは秋田わか杉国体の成功であります。県選手団の頑張りによって念願の総合優勝を果たし、天皇杯・皇后杯を獲得することができました。県民の皆さんの熱烈な応援と選手・関係者・観戦で来県された観光客への温かいおもてなしは、各方面から高い評価をいただき、秋田県のイメージアップにつながることができたと思います。そしてもう一つは全国学力テストで、都道府県別の順位で秋田県は小学6年生がトップ、中学3年生もトップスリーに入るといふ素晴らしい成績を上げたことです。全国に先駆けて実施された少人数学習や教育現場での熱心な指導、地域や家庭での取り組みが実を結んだものと思います。秋田県には、ワースト1位の不名誉な面もありますが、全国に誇れる面もこのように多くあります。大変な時代ではありますが、明るく元気に「全身で前進できる一年」にしたいと思っております。

今後とも変わらぬご支援のほど、心よりお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

秋田県議会議員 つるた有司



県政活動報告

鶴田県議、高校生の熱い思いに答える！『青少年フォーラム in 横手』

横手青年会議所主催で開催されたこのフォーラムは、次代を担う高校生（横手・横手城南・横手清陵学院・増田）が考える明日の横手づくりへの提案に対し、石川横手副市長と鶴田県議が答える形で行われました。高校生たちの熱い思いを真正面から受け止めた県議にとって、彼らと共に創るこれからの横手を頼もしく思うことのできた機会となりました。フォーラムの様子の一部を、皆様にもご紹介します。

テレビ番組の「DASH村」のように、高校生が農業体験を通して農業に親しみを持ち、作物を育てる楽しみを体験できるような事業をやってもらえないでしょうか？（増田高校生）

若い人ならではの発想で、とても面白いですね。DASH村のメンバーは農業体験を通し、作物を育てる楽しみだけではなく、感謝の心や作業を終えたときの達成感など生きる喜びを体感しているのではないだろうか。県は現在、「農業体験学習プログラム」やインターネットを活用した「アグリスクール」など農業体験できる事業を行っています。それを活用しながら、農業に親しみを持つことから始めたらどうでしょう。DASH村のようなことがどのような形でできるか、私も考えてみましょう。皆さんのような若い人たちのユニークな発想とセンスを活かして後継者を育て、売れる農業にチャレンジすることに私は大賛成ですよ。



横手に大学があれば若者の県外流出を防げるとありますが、大学誘致などの計画はあるのでしょうか？（横手高校生、横手清陵学院高校生）



間もなく「大学全入の時代」がやってくると見られていて、なかなか大変なんだよね。今後の努力目標の一つではあるでしょう。でも、横手に4月開学する県立衛生看護学院は、現在は専修学校ではあるけど短大とほぼ同じカリキュラムが用意されていて、可能性の一つとしては、この衛生看護学院を4年制大学に昇格させることもあるでしょうね。看護系だけじゃなくて、将来的には、皆さんが学びたいと思う学科を新たに設置することも含めて、県や市など地元の熱意で4年制大学の昇格を実現できるように運動を盛り上げて生きましようよ。

工業団地をもっと活用して、自動車関連などの有名企業を誘致できたら嬉しいのですが…。（増田高校生、横手高校生）

地元に残って仕事ができたらいいですね。横手は昨年、産学官が連携する「環境ものづくり人材育成」の県のモデル地域に選ばれました。横手には県が所有する第2工業団地という広大な事業用地があるし、自動車道など交通の利便性も高まっています。これらは、県外の企業への大きなPRの材料にもなりますし、企業誘致のほずみになればいいと思います。「ものづくり」を地域の新しい風土のキーワードに位置づけ、県や市と協力しあって企業誘致に力を尽くしたいですね。



北上から横手に新幹線を通してほしいのですが…。（横手城南高校生）



そうですね、あったら便利ですね。北上線は、電化されていないことと山やカーブが多いことで、現状では新幹線化は簡単なことではないようですね。コストがかなり高いのがネックになっています。それ以上に、山形新幹線の大幅延伸についての運動も継続していますし、なかなかハードルは高いのですが、横手の皆さんの悲願ですから、息の長い運動を進めていきたいところですね。市長がよく話されていることですが、車輪の中を自由に変えられるフリーゲージトレインが実用化されれば、奥羽本線の新幹線化も期待できるかもしれませんよ。

最後に鶴田県議から高校生に、「これからの時代は、大都市と地方都市の別なく環境に対する意識の高揚が求められます。皆さんの今日の提案の中にこの面について触れられていなかったことが少し残念でした」と、環境問題への関心を持つことの必要性についてアドバイスがありました。

**県政に対する
ご意見・ご要望を承ります**

つるた有司後援会事務所
〒013-0042 横手市前郷字下三枚橋204 TEL・FAX(0182)36-3355

◆活動の内容や県議のスケジュールは、ホームページでもご覧いただけます。
<http://www12.ocn.ne.jp/~yu-ji/>

◆県政へのご意見やご要望は、メールでも受け付けております。
yu-jikouenkai@lily.ocn.ne.jp

秋田わか杉国体の陸上競技で大活躍!!

**茂木智子さんと
お会いして…**

鶴田県議が会長を務める横手市体育協会横手支部の創立60周年式典で、秋田わか杉国体で活躍した茂木智子さん（横手市出身）が講演しました。

横手南中・横手城南高校を経て福島大学に進まれた茂木さんは、社会人として陸上競技の選手生活を続けていましたが、今回の国体を最後に現役を引退し、今後は「私を育ててくれた地元への恩返しをしたい」ということで、秋田県内で指導者として次の人生を歩まれるそうです。これまでご苦勞様でした。できることなら、地元横手での活躍を期待したいものです。そしてこれからもご活躍をお祈りします。

横手の発展が
秋田再生の大きなカギ。
初志貫徹で、
県議としての仕事を
全うしてほしい。



後援会長
平田 隆一さん

このような時代の中でも地元横手では町の発展のために市と県が力を合わせて様々な取り組みが成されてきました。何かと元気の無い秋田県ではありますが、横手市が今後、県南の中心都市として成長していくことが秋田県全体の元気を牽引していくものと確信しています。地元住民の期待を一身に受けて県議会で活躍を続ける鶴田県議ですが、横手発展のためのリーダーとしても大きな存在です。これからも県議として大所高所から長期的な視野に立ち、本意ではないことに決して感わされることなく、その任を全うしてほしいと願っております。

「厳しい農業」から
「楽しい農業」に。
農家の自立のために、
力を尽くしてほしい。



大雄地区会長
鈴木 春雄さん

国の肝いりで始まった新農業政策も、実際のところ、私たち農家には混乱と不安を招いたというのが本音です。米価はまた下がり、生活はますます厳しくなります。しかし、今の農業の衰退は、国や自治体の農政や見通しの甘さだけではなく、私たち農家自身も自立のための努力が十分でないことも原因だと思っています。社会は大きく様変わりしましたが、農業はこの変化に対応できていませんでした。これからは、特徴ある米づくりや花など他の作物への挑戦が必要です。鶴田県議には農業の後継者づくりや新しい農産物の市場開拓の面で、力を尽くしてほしいと願っています。

町のにぎわいは
若い世代のつながりから。
働く場所の確保を
進めてほしい。



大森地区会長
高橋 良一さん

平成不況となって久しいのですが、こんな時だからこそ、この町に住む人々の気持ちが明るく元気になればいいなと思います。若い世代は働く場所が無ければどんどん都会へ出て行ってしまふから少子化となる。我々が若かった頃は各家々の子どもたちのつながりが親同士の親交につながり、その輪が広がって町の賑わいになっていました。子どもを中心につながりを増やしていくことが一番必要なことだと思います。そのためには何と言っても若い世代の働く場所の確保を最優先で進めていただきたいと、強く願っています。

新しい年のはじまり。 秋田に、 つるた有司に、 望むひと言。

地元経済や中小企業に厳しい状況が続く中で迎えた二〇〇八年。「今年こそは…」という熱い期待は、すべての人々に共通するものです。元気な秋田づくりのために、秋田に、つるた有司に何を望むのか。つるた有司後援会各地区の代表者に「望むひと言」をお聞きしました。

『誠』と『涼』が
鶴田県議のイメージ。
厳しい判断でも、
私たちは応援し続けます。



平鹿地区会長
武内 忠正さん

鶴田県議の、とにかく人の話に耳を傾けて聴く姿勢は大いに好感が持てます。四期目の県議会でも、重責を担う立場で、活躍する様子は頼もしい限りです。特に期待することは、税金の意味のある活用への提案と監督です。一部の産業を救済する目的で税金投入するのだったら、それは今後育つ産業に対してでなければ私たちの血税は意味を成しません。そこをしっかりと見極めてほしいです。県議が場合によっては厳しい判断をしたとしても、地元再生のためであると信じ、私たちはいつまでも応援し続けます。

住む人が
元気と安心を
得られるように、
対話の機会を
多くしてほしい



山内地区会長
高橋 徳保さん

わが山内地区は残念ながら少子高齢化の進行も速く、寂れてきている感で、将来への不安感もぬぐえない状況です。私たちのように山間地帯に住む人間にとつては情報も十分ではなく、何がどうなっているのかわかりにくい。それが将来への大きな不安材料となっています。鶴田県議には、お年寄りなど地域を守っている人たちの対話の機会をできる限り多く持つていただくことで、地域に住む人たちに元気と安心感を与えてほしいと希望しております。

ますます
厳しくなる農業。
改革のリーダー育成が、
農業再生のきっかけに…



増田地区会長
山中 英一さん

私は農家向けの販売店を営んでいるため、お客様の農家の皆さんの悲痛な声を直に聞いています。増田地区では米農家が絶対的に多く、農業の将来にはマイナス材料ばかり。集落営農が農業再生の起爆剤になるとの見方もありますが、増田地区はこの改革を力強く推進する若手リーダー役が存在しないことなども原因で集落営農化は進んでいません。地元で育ち地元を良く知る若い人材を推進のリーダー役として育成し農業を生き返らせられるように、鶴田県議はじめ県には、この面への指導と支援を強く望みます。



見る、聴く、話す… つるた有司の 2007年、 躍動の一年!



「みずほの里ロード」記念式典



副委員長を務める福祉環境委員会



選挙活動 温かい応援をいただきました



2月県議会 総括質疑で座長を務める